

ふくろいスマイル座談会 ⑬山名地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 山名地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年10月27日(日)10時~11時40分
場所	山名コミュニティセンター【参加人数:42人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



「ご意見・ご提案」用紙から

- 第2東名から国道150号までの4車線以上の道路整備による更なる交流と活性化。
- 森町袋井インター通り線の早期開通と、北部地域の活性化。企業誘致と積極的な定住・移住の促進。上山梨・下山梨地区の土地区画整理事業の推進。休耕田・畑の解消と農業従事者の誘致。
- 地区の少子高齢化対策の為、農地転用による人口増加策と企業誘致による地域活性化。
- 宇刈橋付近の流木除去等流下能力向上対策。
- 災害拠点施設の設備の充実。市道への防犯カメラ設置。豪雨対策。歩道・公園の適切な管理。交通安全のぼり旗等の設置の再考。自治会の会議の削減や業務の軽減策の検討。

●当日の意見交換の主な内容（※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました）

安全・安心に暮らせるまち

- 不審者情報が多発している。主要道路への防犯カメラの設置に加え、警察と連携し、今まで以上にスピード感をもって市民に伝えてほしい。
⇒ フェイク情報等もあり、確認してから情報発信している。今後も、警察と協力しスピード感ある情報提供に努める。また、被害に遭いやすい子ども達に対しても、情報提供を出来るように調整しており、実現に向けて取り組んでいく。防犯カメラについては、国や県の補助金など費用負担を含め検討したい。
- 災害時に軽トラックを持参してのボランティアが可能。登録や協力が簡単にできるシステムを望む。
⇒ 災害時は、ボランティアセンターが立ち上がる。登録や保険が必要になると思うが、誰もが使えるようになる。
- 集中豪雨が多いので、中小河川の氾濫が心配。
⇒ 市には各種のハザードマップがあるので、住んでいる地域のリスクを確認し把握していただきたい。河川改修等のハード整備には限界もあるので、ハザードマップを活用した早めの避難も重要となる。

快適で魅力あるまち

- 他県の友人が、浅羽海岸の夕日（日の入り）が美しく感動していた。一方、昨日、浅羽海岸でイベントを行っていたが、参加者が少なく残念に感じた。
⇒ 海岸に駐車場が整備されるので、海の魅力を満喫し、袋井の魅力を感じ、楽しんでいただきたい。イベントの告知やPRなども含め、盛り上げに協力していきたい。
- 現在も物流産業が多い。新たな道路整備により、以前は通らなかった道を大型トラックが通り、舗装の劣化や歩道がない箇所では危険が増す。車両の動線考えた道づくりをしてほしい。
⇒ 現在も大型車の通行規制はあるし、道路の補修・補強も行っている。また、議会の質問でもいただいている。様々な配慮をしながら企業の誘致と安全の確保が両立できるよう課題をクリアしていく。

市民がいきいきと活躍するまち

- 転入時に自治会への加入を促進してほしい。
⇒ 市から自治会の加入の案内はしている。より一層、加入促進に向けて対応をしていく。
- 小規模自治会存続の為、現状の把握と支援を望む。
⇒ 自治会維持や負担削減、運営を続けられるように対応していく。
- 自治会で、市から委託されていると思われる草刈りを市に返したい。
⇒ 市の委託ではなく、自治会の河川愛護活動の取組みに報奨金を支払っている。市の負担を50%まで拡大させることを目指し対応中。少しずつ増やし、地域の負担を減らしていく。

子どもがすこやかに育つまち

- あそびの杜に、子どもが遊びながら防災を学べる施設を作ってほしい。
⇒ スペースは限られているので要望として伺う。現在も防災拠点施設であり、機能としては残す。学びにつなげられるようにしていきたい。